

非圧縮 HD 映像 IP 伝送の国際標準規格に認定されました

株式会社メディアグローバルリンクス(以下「メディアグローバルリンクス」)は、非圧縮 HD(High Definition、いわゆる「ハイビジョン」)映像の IP ネットワーク伝送における誤り訂正方式およびパケットフォーマットの国際標準化作業チームに参画し、その主要メンバーとして規格制定に向けて貢献してきました。このたび映画テレビ技術の国際的な研究機関であり、映像技術全般にわたる標準規格の策定を行っている SMPTE(Society of Motion Picture & Television Engineers)によって国際標準規格「SMPTE2022-5」および「SMPTE2022-6」としてそれぞれ正式に認定されました。

近年、放送事業における業務効率化のため、放送用 HD 映像を IP ネットワークで伝送することが増えていますが、現時点ではそのほとんどは映像信号を圧縮して伝送しています。今後、ネットワーク帯域の拡大にともない、非圧縮のまま伝送するニーズが高まると見込まれますが、非圧縮 HD 映像信号を IP ネットワークで伝送する際の規格が各装置メーカー間で異なると、相互接続に問題が発生する可能性があります。そのため、メディアグローバルリンクスは世界の大手通信事業者、通信装置メーカー、放送局、放送装置メーカーなどとともに国際標準化作業チームに参画し、積極的な提案を行いながらチームをリードしてきました。

メディアグローバルリンクスはすでに「SMPTE2022-5」および「SMPTE2022-6」に準拠した製品を開発し、マルチメディア IP 伝送装置 MD8000 用ボードの中に搭載しています。MD8000 は、オリンピックや FIFA ワールドカップなどの世界的スポーツイベントの映像伝送装置として採用された実績があるほか、日本、欧州、北米、オーストラリア等の放送用ネットワークの主要伝送装置として使用されており、国内、海外の放送インフラを担っています。国際標準規格に準拠したモジュールが搭載されていることにより、ユーザーの持つ他のネットワーク装置との接続性における将来の不安を取り除くことができ、今後一層の販売機会の拡大につながることを期待されています。

なお、本成果の一部は、独立行政法人情報通信研究機構(以下「NICT」)による民間基盤技術研究促進制度に基づき、メディアグローバルリンクスが NICT から受託した委託研究開発課題「非圧縮 HD 映像の IP 伝送国際標準方式の開発と IPv6 実環境評価の研究開発」によって得られたものです。

- 本件についてのお問い合わせ先：
株式会社メディアグローバルリンクス
TEL 044-589-3440
ir@medialinks.co.jp